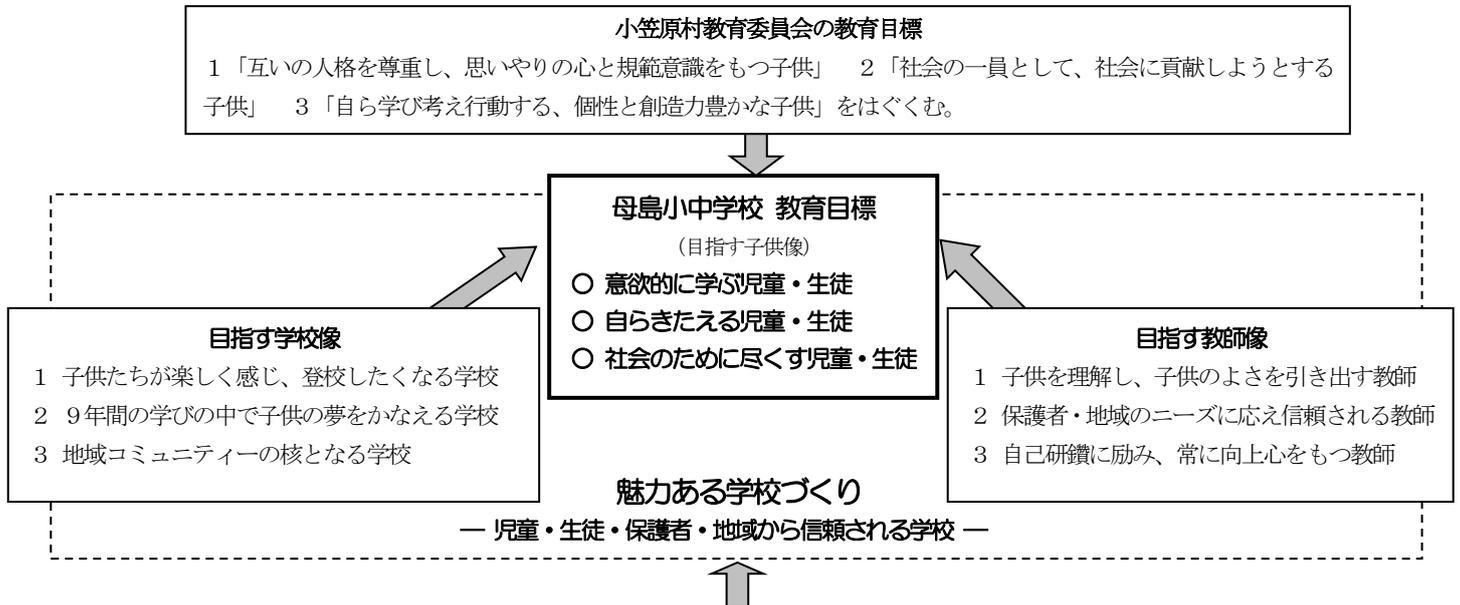


令和7年度 小笠原村立母島小中学校（義務教育学校）経営計画

本年度より義務教育学校となった小笠原村立母島小中学校として、9年間の一貫した教育課程を編成・実施することにより、児童・生徒一人一人の学校生活を充実させ、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を図り、児童・生徒が誇れる学校づくりを推進する。



今年度の取組目標と方策			
確かな学力の定着	豊かな心の育成	健康でたくましい体づくり	地域とともにある学校
<p>①昨年度（令和6年度）まで2年間取り組んできた、小中一貫教育研究推進指定校としての研究主題「自分の考えや思いを表現する母島っ子」の研究をさらに深め、通常の指導の中でも表現力・課題解決力をはぐくむ。</p> <p>②本年度（令和7年度）からの義務教育学校への校種の変更を踏まえ、義務教育9年間を見通した教育課程を編成し、一層小中の学習の接続・系統性を重視した授業を展開して、児童・生徒の確かな学力をはぐくむ。</p> <p>③義務教育学校として、小学5・6年生から「算数」「英語」等の教科においても教科担任制の導入を検討し、小中の教員の協力の下、小中が連携・協力しての授業の充実を図る。</p> <p>④全学年で、校内漢字検定、計算検定、英語スピーキング検定、英語スピーチコンテスト等を実施し、学習意欲を高めるとともに達成感をもたせる。</p>	<p>①保育園との連携・協力も一層深めながら、園児・児童・生徒の学校・園生活の多様な場面で、計画的な相互交流を行い、リーダーシップの発揮、助け合い、学び合いを通して、思いやりのある豊かな心をはぐくむ。</p> <p>②教育相談体制を強化するとともに、児童・生徒会活動の活性化を図り、上級生にリーダーシップを発揮させ、児童・生徒相互の豊かなかわり合いの心を育てる中で、いじめや不登校の根絶に努める。</p> <p>③「小笠原村SNSルール」「母島小中学校SNSルール」を再度周知し、児童・生徒へのスマートフォンやインターネット等の利用について十分に指導していく。また各家庭においても「SNS家庭ルール」を策定してもらう。</p> <p>④生活指導の9学年間の連続性・系統性を十分に確保し、発達段階に応じた指導の重点を明確にして、問題行動の未然防止や課題の発見と速やかな解決に努める。</p>	<p>①体育、保健体育の授業改善、体育的行事（運動会・ロードレース大会）や運動部活動の充実を図り、進んで運動しようとする態度を育てて体力の向上を図る。</p> <p>②スポーツ・テストを全学年で実施し、児童・生徒が自己の体力の現状を把握しながら課題点を明確にして、運動への意欲を高められるよう指導する。</p> <p>③虫歯予防や視力低下予防等の健康教育を行い、自己の心身の健康に対する関心を高めさせ、よりよい生活習慣の定着を図る。</p> <p>④小学1・2・3年では、多様な運動経験をさせる中で体を動かす快さを体感させる。小学4・5・6年では、基礎体力の向上を図りながら運動を習慣化させる。中学生部生徒には、興味・関心・能力に適した運動を経験させながら、生涯にわたって運動に親しむ態度を培わせる。</p> <p>⑤学校生活全体を通して食育を推進し、望ましい食習慣等を身に付けさせ、健康的な食習慣を定着させる。</p>	<p>①学校公開の在り方や学校行事等の見直しも図りながら、広報・広聴活動の充実を図ることにより、教育活動への保護者理解を促進する。また、保護者に対しては教育活動を常時公開する。</p> <p>②全職員が、母島小中学校PTAの行事や地域行事に積極的にかわり、職員、保護者、地域住民相互の連携を深め、地域に根差した魅力ある学校づくりを進める。</p> <p>③様々な自然災害等を想定した避難訓練、集団下校訓練、引き渡し・引き取り訓練等を実施し、児童・生徒の安全・安心を確保するとともに、防災意識を高める。</p> <p>④「地域の子共は地域で育てる」の考えの下、園児・児童・生徒の成長が一貫性あるものとして捉え、学校がコミュニティーの核となりながら保護者・関係機関・地域の方々との連携しながら子育てを推進する。</p> <p>⑤学校ホームページを活用して、常時教育活動を積極的に発信し、学校に対する興味・関心を高めもらう。</p>